

令和4年度 静岡県立病院機構職員健康診断業務（令和4～6年度）委託実施要領（案）

1 目的

この要領は、地方独立行政法人静岡県立病院機構（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）との間に令和4年 月 日に締結された「令和4年度 静岡県立病院機構職員健康診断業務（令和4～6年度）委託実施契約書」（以下「契約書」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

2 実施項目

別紙1-1「令和4年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目」、別紙1-2「令和5年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目」、別紙1-3「令和6年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目」、別紙1-4「令和4年度 職員定期健康診断業務（令和4～6年度）種類別実施項目」、別紙1-5「令和4年度 職員特別健康診断業務（令和4～6年度）種類別実施項目」のとおりとする。

ただし、関係法令等により健康診断の実施項目等に変更が生じた場合は、関係法令等に則して項目等を変更するものとする。

3 実施期間

乙は、原則として各年度の1月31日までに職員健康診断を実施する。ただし、情報機器作業従事者健診及び腰痛健診は2月末までに実施する。

4 実施場所、実施日及び予定人員

(1) 実施場所

県立総合病院、県立こころの医療センター及び県立こども病院

(2) 実施日時

別紙2-1「令和4年度 定期健康診断実施日程一覧（予定）」及び別紙2-2「令和4年度職員健康診断業務（令和4～6年度）実施年間日程（予定）」のとおりとする。なお、令和5年度以降の定期健康診断実施日程については、年間日程に示した期間の範囲内で、前年度3月までに甲乙協議の上決定する。ただし、諸事情により実施日時が変動した場合は、甲乙協議の上決定する。

(3) 予定人員

予定人員は、甲乙協議の上決定する。

5 実施条件

(1) 職員健康診断に必要な受診票及び検体採取容器は、実施日2週間前までに甲が指定した場所に配布すること。

(2) 指定された場所、日時に未受診者が発生した場合、他の実施予定場所、予定日において受診可能となるよう融通すること。これによっても受診ができなかった場合においては、乙の施設等で実施する健康診断により対応可能とすること。

(3) 尿検査、血液生化学検査等の検体検査については、直接実施すること。ただし、予め甲の承認を得た場合には外部委託できるものとする。

6 甲への実績報告書の提出

契約書第5条第1項に定める実績報告書の提出については以下のとおりとする。なお、電子記憶媒体でのデータ作成及び提出に当たっては、コンピュータウイルス対策を講じること。

(1) 乙は様式1及び2の「実績報告書」を作成し、全受診者の健康診断結果を、紙媒体及び別紙1-1に定める健診種類ごとに様式3-1「健診データ仕様書」、様式3-2「所見、疾病、診断結果指示コード」によるデータを収録した電子記憶媒体で併せて甲へ提出すること。なお、実績報告書の提出は、一定期間ごとに分割して提出することを可とする。

(2) 乙は、様式1及び2の「実績報告書」の提出に加え、職員健康診断実施後速やかに、一次健康診断結果として、受診者ごとに所見の有無等を記載した受診結果通知票を作成し、個人別に封入し甲へ提供すること。

7 受診者への受診勧奨

乙は、結核、悪性新生物等、早急に加療が必要とされる疾患が疑われる受診者については、直ちに本人へ医療機関への受診を勧奨するとともに、様式4「静岡県立病院機構職員 検診結果連絡票」により、秘文書扱いで甲へ速やかに報告すること。

8 静岡県健康指導課への健診結果の提出

乙は、全受診者の健康診断結果を、「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の取扱いについて」（平成20年3月28日付け健発第0328024号、保発第0328003号厚生労働省健康局長、保険局長通知。以下「電磁的記録通知」という。）及び「電磁的方法により作成された特定健康診査及び特定保健指導に関する記録の様式等について」（平成20年3月28日付け健総発第0328001号、保総発第0328002号厚生労働省健康局総務課長、保険局総務課長通知）に定める様式に従い（以下「XMLデータ」という。）CD-R又はDVD-Rに収録して地方職員共済組合静岡県支部（県健康指導課）へ提出すること。

なお、XMLデータには決済用情報ファイル（電磁的記録通知別紙「特定健診データの電子的管理のためのファイル仕様」の3に定める決済用情報ファイルをいう。）を含めないこと。

9 労働基準監督署への提出書類作成

乙は、労働基準監督署への提出書類を甲に代わって作成するものとする。

- (1) 乙は、乙で受診した全職員の健康診断結果及び甲が提供する健康診断結果をもとに、労働基準監督署への提出書類作成を行うこと。
- (2) 書類の様式は、労働基準監督署指定のものを使用すること。

別紙1-1 令和4年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目

1 健診種類別実施項目

健診種類 実施項目		雇用時健康診断	一般検診	成人病検診			
		30歳未満で今年度及び前年度中途に雇用された職員 (前年度健診未受診者に限る)	30歳未満の職員 (雇用時健診受診者を除く)	30歳以上の職員(40、45、50、55歳及び退職前の職員を除く)			
				30～34、36～39歳	35歳	41歳～44歳	46歳以上
問診	既往歴、自覚症状、家族歴等	○	○	○	○	○	○
診察		○	○	○	○	○	○
身体測定	身長、体重、BMI	○	○	○	○	○	○
腹囲		○	○ ^{※4}	○	○	○	○
視力検査		○	○	○	○	○	○
聴力検査	問診による (所見のある場合はオージオメーターを実施する)		○	○ ^{※1}		○ ^{※1}	
	オージオメーター	○			○		○
胸部X線間接撮影		○	○	○			
血圧測定(2回測定)		○	○	○	○	○	○
尿検査	糖、蛋白、潜血	○	○	○	○	○	○
腎機能検査	血清クレアチニン	○	○	○	○	○	○
血中脂質検査	HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪	○	○	○	○	○	○
血液検査	赤血球数、白血球数、血色素量、ヘマトクリット	○	○	○	○	○	○
糖尿病検査	血糖、ヘモグロビンA1c ^{※3}	○	○	○	○	○	○
循環器検査	心電図(安静時、12誘導)	○	○ ^{※4}	○			
肝機能検査	A S T、A L T、γ-G T P	○	○	○	○	○	○
子宮がん検診	問診、視診、内診、子宮頸部細胞診	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢のみ) ^{※2}			
乳がん検診	問診、マンモグラフィ(2方向)					○(偶数年齢のみ) ^{※2}	
肺がん検診 (別紙3「肺がん検診特記仕様書」による)	喀痰検査(喫煙指数600以上) 胸部レントゲン読影					○	○
大腸がん検診 (別紙4「大腸がん検診特記仕様書」による)	免疫学的便潜血反応(2日法)					○	○
胃がん検診 (別紙5「胃がん検診特記仕様書」による)	胃部X線間接撮影					○	○
ピロリ菌検査	採血による	○(選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)		

※1 今年度及び前年度中途に採用された職員は、問診ではなくオージオメーターを実施する。

※2 検診車による受診を希望した職員のみ

※3 食後3.5時間以上10時間未満の場合は随時血糖、10時間以上の場合は空腹時血糖として取扱う。食後からの採血時間が3.5時間未満の場合はヘモグロビンA1c検査を実施する。

※4 医師が必要でないと認めるときは、省略することができる。

(注) 年齢は、令和4年4月1日現在の年齢とする。

別紙1-2 令和5年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目

1 健診種類別実施項目

健診種類 実施項目		雇用時健康診断	一般検診	成人病検診			
		30歳未満で今年度及び前年度中途に雇用された職員 (前年度健診未受診者に限る)	30歳未満の職員 (雇用時健診受診者を除く)	30歳以上の職員(40、45、50、55歳及び退職前の職員を除く)			
				30～34、36～39歳	35歳	41歳～44歳	46歳以上
問診	既往歴、自覚症状、家族歴等	○	○	○	○	○	○
診察		○	○	○	○	○	○
身体測定	身長、体重、BMI	○	○	○	○	○	○
腹囲		○	○ ^{※4}	○	○	○	○
視力検査		○	○	○	○	○	○
聴力検査	問診による (所見のある場合はオージオメーターを実施する)		○	○ ^{※1}		○ ^{※1}	
	オージオメーター	○			○		○
胸部X線間接撮影		○	○	○			
血圧測定(2回測定)		○	○	○	○	○	○
尿検査	糖、蛋白、潜血	○	○	○	○	○	○
腎機能検査	血清クレアチニン	○	○	○	○	○	○
血中脂質検査	HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪	○	○	○	○	○	○
血液検査	赤血球数、白血球数、血色素量、ヘマトクリット	○	○	○	○	○	○
糖尿病検査	血糖、ヘモグロビンA1c ^{※3}	○	○	○	○	○	○
循環器検査	心電図(安静時、12誘導)	○	○ ^{※4}	○			
肝機能検査	A S T、A L T、γ-G T P	○	○	○	○	○	○
子宮がん検診	問診、視診、内診、子宮頸部細胞診	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢のみ) ^{※2}			
乳がん検診	問診、マンモグラフィ(2方向)					○(偶数年齢のみ) ^{※2}	
肺がん検診 (別紙3「肺がん検診特記仕様書」による)	喀痰検査(喫煙指数600以上) 胸部レントゲン読影					○	○
大腸がん検診 (別紙4「大腸がん検診特記仕様書」による)	免疫学的便潜血反応(2日法)					○	○
胃がん検診 (別紙5「胃がん検診特記仕様書」による)	胃部X線間接撮影					○	○
ピロリ菌検査	採血による	○(選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)		

※1 今年度及び前年度中途に採用された職員は、問診ではなくオージオメーターを実施する。

※2 検診車による受診を希望した職員のみ

※3 食後3.5時間以上10時間未満の場合は随時血糖、10時間以上の場合は空腹時血糖として取扱う。食後からの採血時間が3.5時間未満の場合はヘモグロビンA1c検査を実施する。

※4 医師が必要でないと認めるときは、省略することができる。

(注) 年齢は、令和5年4月1日現在の年齢とする。

別紙1-3 令和6年度 職員定期健康診断業務種類別実施項目

1 健診種類別実施項目

健診種類 実施項目		雇用時健康診断	一般検診	成人病検診			
		30歳未満で今年度及び前年度中途に雇用された職員 (前年度健診未受診者に限る)	30歳未満の職員 (雇用時健診受診者を除く)	30歳以上の職員(40、45、50、55歳及び退職前の職員を除く)			
				30～34、36～39歳	35歳	41歳～44歳	46歳以上
問診	既往歴、自覚症状、家族歴等	○	○	○	○	○	○
診察		○	○	○	○	○	○
身体測定	身長、体重、BMI	○	○	○	○	○	○
腹囲		○	○ ^{※4}	○	○	○	○
視力検査		○	○	○	○	○	○
聴力検査	問診による (所見のある場合はオージオメーターを実施する)		○	○ ^{※1}		○ ^{※1}	
	オージオメーター	○			○		○
胸部X線間接撮影		○	○	○			
血圧測定(2回測定)		○	○	○	○	○	○
尿検査	糖、蛋白、潜血	○	○	○	○	○	○
腎機能検査	血清クレアチニン	○	○	○	○	○	○
血中脂質検査	HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪	○	○	○	○	○	○
血液検査	赤血球数、白血球数、血色素量、ヘマトクリット	○	○	○	○	○	○
糖尿病検査	血糖、ヘモグロビンA1c ^{※3}	○	○	○	○	○	○
循環器検査	心電図(安静時、12誘導)	○	○ ^{※4}	○			
肝機能検査	AST、ALT、γ-GTP	○	○	○	○	○	○
子宮がん検診	問診、視診、内診、子宮頸部細胞診	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢かつ20歳以上のみ) ^{※2}	○(偶数年齢のみ) ^{※2}			
乳がん検診	問診、マンモグラフィ(2方向)					○(偶数年齢のみ) ^{※2}	
肺がん検診 (別紙3「肺がん検診特記仕様書」による)	喀痰検査(喫煙指数600以上) 胸部レントゲン読影					○	○
大腸がん検診 (別紙4「大腸がん検診特記仕様書」による)	免疫学的便潜血反応(2日法)					○	○
胃がん検診 (別紙5「胃がん検診特記仕様書」による)	胃部X線間接撮影					○	○
ピロリ菌検査	採血による	○(選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)	○(当項目を未受診の職員の内選択した職員のみ)		

※1 今年度及び前年度中途に採用された職員は、問診ではなくオージオメーターを実施する。

※2 検診車による受診を希望した職員のみ

※3 食後3.5時間以上10時間未満の場合は随時血糖、10時間以上の場合は空腹時血糖として取扱う。食後からの採血時間が3.5時間未満の場合はヘモグロビンA1c検査を実施する。

※4 医師が必要でないと認めるときは、省略することができる。

(注) 年齢は、令和6年4月1日現在の年齢とする。

別紙1-4 令和4年度 職員定期健康診断業務（令和4～6年度）種類別実施項目

2 健診種類別実施項目（有期雇用職員）

検診種類		一般検診	成人病検診
対象職員 ^{※1}		30歳未満の職員 （新規採用職員を除く）	30歳以上の職員及び 新規採用職員
実施項目			
問診 / 診察	既往歴、自覚症状、家族歴等	○	○
身体計測	身長、体重、血圧	○	○
腹 囲		○ ^{※3}	○
視力検査		○	○
聴力検査	問診による	○	
	オーディオメーター		○ 新規採用、35・40歳、45歳以上の職員
胸部X線撮影		○	○
尿 検 査	糖、蛋白、潜血	○	○
腎機能検査	血清クレアチニン	○	○
循環器検査	HDL-C、LDL-C、中性脂肪	○	○
	心電図	○ ^{※3}	○
糖尿病検査	血糖、ヘモグロビンA1c ^{※2}	○	○
肝機能検査	AST、ALT、γ-GTP	○	○
血液検査	赤血球数、白血球数、 血色素量、ヘマトクリット	○	○

※1 年齢は各年度4月1日現在

※2 食後3.5時間以上10時間未満の場合は随時血糖、10時間以上の場合は空腹時血糖として取扱う。食後からの採血時間が3.5時間未満の場合はヘモグロビンA1c検査を実施する。

※3 医師が必要でないと認めるときは、省略することができる。

令和4年度 職員特別健康診断業務（令和4～6年度）種類別実施項目

放射線業務従事者健診
医師による診察
RBC, WBC, HGB, HT, 白血球百分率

人工透析業務従事者健診
HBs抗原（化学発光法）
HBs抗体（化学発光法）
HCV抗体（化学発光法）
AST
ALT

深夜業務従事者健診
医師による診察
身体測定（身長・体重）
視力測定
血圧測定
尿検査（蛋白・糖）
腹囲計測※1
聴力検査※2
貧血検査※1
肝機能検査※1
血中脂質検査※1
血糖検査※1
心電図検査※1

VDT作業従事者健診
一次健診
二次健診（専門医による頸肩腕診察, 視力測定, 斜位, 赤緑視標, 屈折検査, 調節機能）

有機溶剤取扱業務従事者健診
医師による自他覚症状の有無
尿検査（蛋白）
尿中馬尿酸
尿中マンデル酸
尿中メチル馬尿酸
尿中トリクロル酢酸又は総酸塩化物
尿中Nメチルホルムアミド
尿中2,5ヘキサンジオン
眼底検査
肝機能検査（AST, ALT, γ -GT）
貧血検査（RBC, HGB）

腰痛健診
一次検査（問診審査）
二次検査（医師診察, 握力, 前屈検査, 背筋力検査）

採血業務従事者健診
HBs抗原（化学発光法）
HBs抗体（化学発光法）
HCV抗体（化学発光法）

特定化学物質取扱者健診
医師による自他覚症状の有無
尿検査（蛋白）
尿検査（糖）
尿検査（潜血）
尿検査（ウロビリノーゲン）
尿沈渣
血液検査（AST, ALT, ALP）
血液検査（AST, ALT, γ -GT）
血液検査（AST, ALT, γ -GT, ALP）
血液検査（RBC, WBC）
肺活量測定
血圧測定
握力測定
胸部X線直接撮影

※1 医師が必要でないとき、省略することができる。

※2 前回の健康診断でオーディオメーターを実施した者又は45歳未満の者（35歳未満の者を除く）は、医師が適当と認める聴力検査（会話法）

（注）特別健康診断受診者は別途甲より通知する

令和4年度 定期健康診断実施日程一覧(予定)

6月28日	火		こころの医療センター(8時～12時)	
6月29日	水			こども病院(8時～15時)
6月30日	木	総合病院(8時～15時30分)		
7月1日	金	総合病院(8時～15時30分)		
7月2日	土			
7月3日	日			
7月4日	月	総合病院(8時～15時30分)		
7月5日	火		こころの医療センター(8時～12時)	
7月6日	水			こども病院(8時～15時)
7月7日	木	総合病院(8時～15時30分)		
7月8日	金			
7月9日	土			
7月10日	日			
7月11日	月			
7月12日	火			
7月13日	水			
7月14日	木			
7月15日	金	総合病院(8時～15時30分)		
7月16日	土			
7月17日	日			
7月18日	月			
7月19日	火			
7月20日	水	総合病院(8時～15時30分)		
7月21日	木			
7月22日	金			
7月23日	土			
7月24日	日			
7月25日	月			こども病院(8時～15時)
7月26日	火			
7月27日	水			
7月28日	木			
7月29日	金	総合病院(8時～15時30分)		
7月30日	土			
7月31日	日			
8月1日	月			こども病院(8時～15時)
8月2日	火			
8月3日	水			
8月4日	木		こころの医療センター(8時～12時)	
8月5日	金	総合病院(8時～15時30分)		
8月6日	土			
8月7日	日			
8月8日	月			こども病院(8時～15時)
8月9日	火			
8月10日	水			
8月11日	木			
8月12日	金	総合病院(8時～15時30分)		

※総合病院の胃検診待ち時間対策として事前予約制。空き状況でつつじホールと受付でPHSを使用し調整

総合病院とこども病院の胃検診車に受付を1名設置する

令和4年度 職員健康診断業務(令和4~6年度)実施年間日程(予定)

健診種別等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定期健康診断	非常勤職員健診												
	雇用時健診・一般検診・成人病検診												
婦人科検診	検診車(総合・こども)												
特別健康診断	採血業務従事者健診				※1								
	人工透析業務従事者健診												
	深夜業務従事者健診				※2								
	放射線業務従事者健診												
	有機溶剤取扱業務従事者健診												
	特定化学物質取扱業務従事者健診												
	腰痛健診												
	情報機器作業従事者健診												

※1 B型肝炎予防接種事前スクリーニングを兼ねる。

※2 深夜業務従事者健診の1回目は、夏期の定期健康診断に含める。

肺がん検診特記仕様書

1 検診項目

肺がん検診の検診項目は、次に掲げる問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診とし、喀痰細胞診は、問診の結果、医師が必要と認める者に対し行う。

(1) 問診

問診に当たっては、喫煙歴、職歴及び血痰の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取すること。

(2) 胸部エックス線検査

肺がん検診に適格な胸部エックス線写真を撮影し、読影すること。

肺がん検診に適格な胸部エックス線写真は、肺尖、肺野外側縁、横隔膜及び肋骨横隔膜等を十分に含むようなエックス線写真であって、適度な濃度とコントラスト及び良好な鮮鋭度をもち、縦隔陰影に重なった気管、主気管支の透亮像並びに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるものであり、かつ、次により撮影されたものとする。

ア 間接撮影であって、100mmミラーカメラを用い、定格出力150kV以上の撮影装置を用いた、120kV以上の管電圧による撮影

イ 間接撮影であって、定格出力125kVの撮影装置を用い、縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため110kV以上の管電圧及び希土類（グラデーション型）蛍光板を用いた撮影

ウ 直接撮影であって、被験者—管球間の距離を1.5m以上とし、定格出力150kV以上の撮影装置を用い、原則として120kV（やむを得ない場合は100～120kVでも可）の管電圧及び希土類システム（希土類増感紙及びオルソタイプフィルム）を用いた撮影

(3) 喀痰細胞診

ア 問診の結果、喀痰細胞診の対象とされた者に対し、喀痰採取容器を配布し、喀痰を採取すること。

喀痰細胞診の対象者は、問診の結果、原則として40歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上（過去における喫煙者を含む。）であることが判明した者とする。

問診の結果、喀痰細胞診の対象とされた者に対し、有効痰の採取方法を説明するとともに、保存液の入った喀痰採取容器を配布し、喀痰を採取するものとする。

イ 喀痰は、起床時の早朝痰を原則とし、最低3日の蓄痰又は3日の連続採痰とする。

ウ 採取した喀痰（細胞）の処理方法は、次のとおりとする。

(ア) ホモジナイズ法又は蓄痰直接塗抹法により、2枚以上のスライドガラスに擦り合わせ式で塗抹する。また、塗抹面積は、スライドガラス面の3分の2程度とする。

(イ) 蓄痰直接塗抹法においては、粘血部、灰白色部等数箇所からピックアップし、擦り合わせ式で塗抹する。

(ウ) パパニコロウ染色を行い顕微鏡下で観察すること。

2 胸部エックス線写真の読影方法

胸部エックス線写真は、2名以上の医師によって読影することとし、その結果に応じて、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影することが望ましい。

その方法は、次のとおりとする。

(1) 二重読影

2名以上の医師が同時に又はそれぞれ独立して読影することとするが、このうち1名は、十分な経験を有する者として、読影結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「肺癌検診における胸部X線写真の判定基準と指導区分」によって行うこと。

(2) 比較読影

ア 二重読影の結果、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「肺癌検診における胸部X線写真の判定基準と指導区分」の「d」及び「e」に該当するものについては、比較読影を行うこと。

イ 比較読影は、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較しながら読影するものであり、次のいずれかの方法により行うこと。

(ア) 読影委員会等を設置して比較読影を行う方法

(イ) 二重読影を行った医師がそれぞれ比較読影を行う方法

(ウ) 二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が比較読影を行う方法

ウ 読影結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「肺癌検診における胸部X線写真の判定基準と指導区分」によって行うこと。

3 喀痰細胞診の実施

(1) 検体の顕微鏡検査は、十分な経験を有する医師及び臨床検査技師を有する専門的検査機関において行うこと。この場合において、医師及び臨床検査技師は、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医及び細胞検査士であることが望ましい。

また、同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングすること。

(2) 専門的検査機関は、細胞診の結果について、速やかに検査を依頼した者に通知すること。

(3) 喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「集団検診における略痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行うこと。

4 結果の通知

検診の結果については、問診、胸部エックス線写真の読影の結果及び喀痰細胞診の結果を総合的に判断して、精密検査の必要性の有無を決定し、受診者に速やかに通知すること。

指導区分は、「要精検」及び「精検不要」とし、「要精検」と区分された者に対し、医療機関において精密検査を受診するよう指導すること。

なお、指導区分の決定及び精度管理等については、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）等を参考とすること。

また、胸部エックス線写真の読影の結果、結核等肺がん以外の疾患が考えられる者については、受診者に適切な指導を行うとともに、甲又は医療機関に連絡する等の体制を整備すること。

5 精度管理

- (1) 適切な方法及び精度管理の下で肺がん検診が円滑に実施されるよう、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（がん検診事業の評価に関する委員会報告書（平成20年3月））の「肺がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）」を参考とするなどして、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診の精度管理に努めること。
- (2) 細胞診を他の細胞診検査センター等に依頼する場合は、細胞診検査機関の細胞診専門医や細胞検査士等の人員や設備等を十分に把握し、適切な機関を選ぶこと。

6 記録等の保存

- (1) 胸部エックス線写真及び喀痰細胞診に係る検体は、少なくとも3年間保存すること。
- (2) 問診記録及び検診結果は、少なくとも5年間保存すること。

大腸がん検診特記仕様書

1 検診項目

大腸がん検診の検診項目は便潜血検査とする。

便潜血検査は、免疫便潜血検査2日法により行うものとし、測定用キット、採便方法、検体の回収及び検体の測定については、次のとおりとする。

(1) 測定用キット

それぞれの測定用キットの特性及び採便から測定までの時間等を勘案して、最適のものを採用すること。

(2) 採便方法

採便用具（ろ紙、スティック等）を配布し、自己採便とする。なお、採便用具の使用法、採便量、初回採便から2回目までの日数及び初回採便後の検体の保管方法等は、検診の精度に大きな影響を与えることから、採便用具の配布に際しては、その旨を受診者に十分説明すること。

(3) 検体の回収

初回の検体は、受診者の自宅において冷蔵保存（冷蔵庫での保存が望ましい。）し、2回目の検体を採取した後即日回収することを原則とする。また、やむを得ず即日回収できない場合でも、回収までの時間を極力短縮し、検体の回収、保管及び輸送の各過程で温度管理に厳重な注意を払うこと。

なお、検診受診者から検診実施機関への検体郵送は、温度管理が困難であり、検査の精度が下がることから、行わないものとする。

(4) 検体の測定

検体回収後速やかに行うものとし、速やかな測定が困難な場合は、冷蔵保存すること。

2 検診結果の区分

大腸がん検診の結果は、問診の結果を参考として、免疫便潜血検査の結果により判断し、「異常なし」及び「要精検」に区分すること。

3 結果の通知

検診の結果については、精密検査の必要性の有無を付し、受診者に速やかに通知すること。

4 精度管理

(1) 適切な方法及び精度管理の下で大腸がん検診が円滑に実施されるよう、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（がん検診事業の評価に関する委員会報告書（平成20年3月））の「大腸がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）」を参考とするなどして、便潜血検査等の精度管理に努めること。

(2) 検体の測定を適正な方法で原則として自ら行うこと。

5 記録の保存

検診結果を少なくとも5年間保存すること。

6 精密検査等

大腸がん検診において「要精検」とされた者については、必ず精密検査を受診するよう周知すること。

なお、その際には、精密検査を受診しないことにより、大腸がんによる死亡の危険性が高まるなどの科学的知見に基づき、十分な説明を行うこと。

胃がん検診特記仕様書

1 検診項目

胃がん検診の検診項目は、次に掲げる問診及び胃部エックス線検査とする。

(1) 問診

問診に当たっては、現在の病状、既往歴、家族歴及び過去の検診の受診状況等を聴取すること。

(2) 胃部エックス線検査

ア 胃部エックス線検査は、胃がんの疑いがある者を効率的にスクリーニングする点を考慮し、原則として間接撮影とする。

なお、間接撮影は、7×7cm以上のフィルムを用い、撮影装置は、被曝線量の低減を図るため、イメージ・インテンシフアリア方式が望ましい。

イ 撮影枚数は、最低7枚とする。

ウ 撮影の体位及び方法は、日本消化器がん検診学会の方式によること。

エ 造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に保つとともに、副作用等の事故に注意すること。

2 胃部エックス線写真の読影方法

胃部エックス線写真の読影は、原則として十分な経験を有する2名以上の医師によって行うこととし、その結果に応じて、過去に撮影した胃部エックス線写真と比較読影することが望ましい。

3 結果の通知

検診の結果については、精密検査の必要性の有無を附し、受診者に速やかに通知すること。

4 精度管理

適切な方法及び精度管理の下で胃がん検診が円滑に実施されるよう、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（がん検診事業の評価に関する委員会報告書（平成20年3月））の「胃がん検診のための事業評価のためのチェックリスト（検診実施機関用）」を参考とするなどして、胃部エックス線検査の精度管理に努めること。

5 記録等の保存

(1) 胃部エックス線写真を少なくとも3年間保存すること。

(2) 問診記録及び検診結果を少なくとも5年間保存すること。

年 月 日

地方独立行政法人静岡県立病院機構

本部事務部 経営管理課長 あて

検診機関名 印

年度 本部事務部 (**職員区分**) 実績報告(月分)

1 健康診断実績報告

(集団健診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
身体測定 (身長・体重)			
視力測定			
聴力測定 (1000HZ, 4000HZ)			
血圧測定 (再検査含む)			
尿検査 (潜血・蛋白・糖)			
腎機能検査 (血清クレアチニン)			
LDLコレステロール			
HDLコレステロール			
中性脂肪			
血糖			
ヘモグロビンA1c			
肝機能 (AST, ALT, γ -GT)			
安静時心電図12誘導			
血液検査 (RBC, WBC, HGB, HT)			
免疫学的便潜血反応検査 (2回法)			
胸部X線撮影 (直接又は間接)			
腹囲計測			
容器セット代			
医師診察			
胃部X線撮影 (直接又は間接)			
喀痰細胞診			
ピロリ菌検査			
小計			

(婦人科検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
子宮頸部細胞診			
マンモグラフィ (2方向)			
医師派遣料 (1回)			
婦人科検診車 (1回)			
乳がん検診車 (1回)			
小計			

(採血業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
HBs抗原 (化学発光法)			
HBs抗体 (化学発光法)			
HCV抗体 (化学発光法)			
小計			

(放射線業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
医師による診察			
RBC, WBC, HGB, HT, 白血球百分率			
小計			

(腰痛検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
一次検査 (問診審査)			
二次検査 1会場あたりの出張経費 (医師診察, 握力, 前屈検査, 背筋力検査)			
小計			

(情報機器作業従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
一次健診			
二次健診 (専門医による頸肩腕診 察, 視力測定, 斜位, 赤緑視標, 屈折検査, 調節機能)			
医師派遣料 (1回)			
小計			

合計金額(税抜)

合計金額(税込)

2 同封書類等

- ・受診者の検診結果 ()部
- ・受診者の検診結果データ電子媒体 ()枚
- ・請求書 ()部
- ・明細書 ()部
- ・結果集計表 ()部

担当

地方独立行政法人静岡県立病院機構

本部事務部 経営管理課長 あて

検診機関名 印

年度 病院名 (職員区分) 実績報告(月分)

1 健康診断実績報告

(集団健診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
身体測定 (身長・体重)			
視力測定			
聴力測定 (1000HZ, 4000HZ)			
血圧測定 (再検査含む)			
尿検査 (潜血・蛋白・糖)			
腎機能検査 (血清クレアチニン)			
LDLコレステロール			
HDLコレステロール			
中性脂肪			
血糖			
肝機能 (AST, ALT, γ -GT)			
安静時心電図 1 2 誘導			
血液検査 (RBC, WBC, HGB, HT)			
免疫学的便潜血反応検査 (2 回法)			
胸部X線撮影 (直接又は間接)			
腹囲計測			
容器セット代			
医師診察			
医師による職員健診の健康管理区分判定			
胃部X線撮影 (直接又は間接)			
喀痰細胞診			
ピロリ菌検査			
小 計			

(婦人科検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
子宮頸部細胞診			
マンモグラフィ (2 方向)			
医師派遣料 (1 回)			
婦人科検診車 (1 回)			
乳がん検診車 (1 回)			
小 計			

(採血業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
HBs抗原 (化学発光法)			
HBs抗体 (化学発光法)			
HCV抗体 (化学発光法)			
小 計			

(人工透析業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
HBs抗原 (化学発光法)			
HBs抗体 (化学発光法)			
HCV抗体 (化学発光法)			
AST			
ALT			
小 計			

(放射線業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
医師による診察			
RBC, WBC, HGB, HT, 白血球百分率			
小 計			

(特定化学物質取扱者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
医師による自他覚症状の有無			
尿検査 (蛋白)			
尿検査 (糖)			
尿検査 (潜血)			
尿検査 (ウロビリノーゲン)			
尿沈渣			
血液検査 (AST, ALT, ALP)			
血液検査 (AST, ALT, γ -GT)			
血液検査 (AST, ALT, γ -GT, ALP)			
血液検査 (RBC, WBC)			
肺活量測定			
血圧測定			
握力測定			
胃部X線撮影 (直接又は間接)			
小 計			

(有機溶剤検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
医師による自他覚症状の有無			
尿検査 (蛋白)			
尿中馬尿酸			
尿中マンデル酸			
尿中メチル馬尿酸			
尿中トリクロル酢酸又は総酸塩化物			
尿中Nメチルホルムアミド			
尿中2, 5ヘキサンジオン			
眼底検査			
肝機能検査 (AST, ALT, γ -GT)			
貧血検査 (RBC, HGB)			
小 計			

(深夜業務従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
医師による診察			
身体測定 (身長・体重)			
視力測定			
血圧測定			
尿検査 (蛋白・糖)			
腹囲計測			
容器セット代			
聴力測定 (1000HZ, 4000HZ)			
貧血検査 (RBC、HGB)			
肝機能検査 (AST, ALT, γ -GT)			
LDLコレステロール			
HALコレステロール			
中性脂肪			
決闘			
安静時心電図12誘導			
小計			

(腰痛検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
一次検査 (問診審査)			
二次検査 1会場あたりの出張経費 (医師診察, 握力, 前屈検査, 背筋力検査)			
小計			

(情報機器作業従事者検診)

項目	税抜単価 (円)	受診者	金額 (円)
一次健診			
二次健診 (専門医による頸肩腕診 察, 視力測定, 斜位, 赤緑視標, 屈折検査, 調節機能)			
医師派遣料 (1回)			
小計			

合計金額(税抜)

合計金額(税込)

2 同封書類等

- ・受診者の検診結果 ()部
- ・受診者の検診結果データ電子媒体 ()枚
- ・請求書 ()部
- ・明細書 ()部
- ・結果集計表 ()部

担当 担当者名

健診データ仕様書(CSV出力形式)

新No.	項目名	型	桁	付加	備考
1	職員番号	テキスト	8		
2	生年月日	日付	10	-	YYYY/MM/DD
3	年度	日付	10	-	YYYY/04/01
4	受診年月日	日付	10	-	YYYY/MM/DD
5	検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード
6	治療中1	テキスト	3	0	疾病コード
7	治療中2	テキスト	3	0	疾病コード
8	治療中3	テキスト	3	0	疾病コード
9	治療中4	テキスト	3	0	疾病コード
10	治療中5	テキスト	3	0	疾病コード
11	経過観察中1	テキスト	3	0	疾病コード
12	経過観察中2	テキスト	3	0	疾病コード
13	経過観察中3	テキスト	3	0	疾病コード
14	経過観察中4	テキスト	3	0	疾病コード
15	経過観察中5	テキスト	3	0	疾病コード
16	既往歴1	テキスト	3	0	疾病コード
17	既往歴2	テキスト	3	0	疾病コード
18	既往歴3	テキスト	3	0	疾病コード
19	既往歴4	テキスト	3	0	疾病コード
20	既往歴5	テキスト	3	0	疾病コード
21	身長	通貨	3.1		999.9 (cm)
22	体重	通貨	3.1		999.9 (kg)
23	体脂肪率	通貨	2.1		99.9
24	視力右裸眼	通貨	1.2		9.99
25	視力左裸眼	通貨	1.2		9.99
26	視力右矯正	通貨	1.2		9.99
27	視力左矯正	通貨	1.2		9.99
28	色覚				
29	聴力右会話所見	テキスト	1		所見コード1
30	聴力右1000所見	テキスト	1		所見コード1
31	聴力右4000所見	テキスト	1		所見コード1
32	聴力左会話所見	テキスト	1		所見コード1
33	聴力左1000所見	テキスト	1		所見コード1
34	聴力左4000所見	テキスト	1		所見コード1
35	聴力所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
36	血圧1最高	数値	3		999
37	血圧1最低	数値	3		999
38	血圧2最高	数値	3		999
39	血圧2最低	数値	3		999
40	尿1糖	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
41	尿1蛋白	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
42	尿1潜血	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
43	尿2糖	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
44	尿2蛋白	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
45	尿2潜血	テキスト	2		-、+-、1+、2+、・・・9+
46	総コレステロール	数値	3		999 (mg/dl)
47	HDLコレステロール	数値	3		999 (mg/dl)
48	中性脂肪	数値	4		9999 (mg/dl)
49	尿酸	通貨	2.1		99.9 (mg/dl)
50	血糖	数値	3		999 (mg/dl)
51	GOT	数値	3		999 (U/I)
52	GPT	数値	3		999 (U/I)
53	γGTP	数値	4		9999 (U/I)
54	赤血球数	数値	4		9999 (万/mm ³)
55	白血球数	数値	5		99999 (/mm ³)
56	血色素量	通貨	2.1		99.9 (g/dl)
57	心電図所見	テキスト	2	0	所見コード2
58	心電図所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
59	胸部X線省略	テキスト	1		所見コード16
60	胸部X線間接所見	テキスト	2	0	所見コード3
61	胸部X線間接所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
62	胸部X線間接フィルムNo	数値	6		
63	胸部X線直接日付	日付	10	-	YYYY/MM/DD
64	胸部X線直接検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード
65	胸部X線直接所見	テキスト	2	0	所見コード3
66	胸部X線直接所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
67	胸部X線直接フィルムNo	数値	6		
68	胃部X線間接日付	日付	10	-	YYYY/MM/DD
69	胃部X線間接検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード
70	胃部X線間接所見	テキスト	2	0	所見コード4
71	胃部X線間接所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
72	大腸癌日付	日付	10	-	YYYY/MM/DD
73	大腸癌検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード
74	大腸癌所見	テキスト	2	0	所見コード6
75	大腸癌所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
76	婦人科乳癌日付	日付	10	-	YYYY/MM/DD
77	婦人科乳癌検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード

新No.	項目名	型	桁	付加	備考
78	婦人科乳癌所見	テキスト	1		所見コード7
79	婦人科乳癌所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
80	婦人科子宮癌日付	日付	10	-	YYYY/MM/DD
81	婦人科子宮癌検診機関コード	テキスト	3	0	検診機関コード
82	婦人科子宮癌(内診)所見	テキスト	1		所見コード8
83	婦人科子宮癌(内診)所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
84	婦人科子宮癌(細胞診)	テキスト	2	0	所見コード9
85	婦人科子宮癌所見 細胞診 指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
86	診察所見	テキスト	1		所見コード10
87	診察所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
88	脈拍所見	テキスト	1		所見コード11
89	脈拍数	数値	3		999 (拍/分)
90	脈拍指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
91	努力性肺活量	通貨	2.2		99.99 (l)
92	一秒量	通貨	2.2		99.99 (l)
93	一秒率	通貨	3.1		999.9 (%)
94	予測肺活量	通貨	2.2		99.99 (l)
95	肺活量比	通貨	3.1		999.9 (%)
96	予測一秒率	通貨	3.1		999.9 (%)
97	血沈1時間	数値	3		999 (mm)
98	喀痰細胞診	テキスト	1		所見コード12
99	喀痰細胞診指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
100	負荷心電図	テキスト	2	0	所見コード2
101	負荷心電図指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
102	LDLコレステロール	数値	3		999 (mg/dl)
103	尿沈渣赤血球	テキスト	1		所見コード13
104	尿沈渣白血球	テキスト	1		所見コード13
105	尿沈渣扁平上皮	テキスト	1		所見コード13
106	尿沈渣円柱顆粒	テキスト	1		所見コード13
107	尿沈渣円柱硝子	テキスト	1		所見コード13
108	尿素窒素	通貨	3.1		999.9 (mg/dl)
109	クレアチニン	通貨	2.2		99.99 (mg/dl)
110	総蛋白	通貨	2.1		99.9 (g/dl)
111	AG比	通貨	1.1		9.9
112	ALB	通貨	2.1		99.9 (g/dl)
113	眼底右所見	テキスト	2		所見コード14
114	眼底左所見	テキスト	2		所見コード14
115	眼底所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
116	眼圧右	数値	3		999 (mmHg)
117	眼圧左	数値	3		999 (mmHg)
118	ALP	数値	3		999 (U/I)
119	LDH	数値	3		999 (U/I)
120	HBS抗原	テキスト	1		所見コード15
121	ヘマトクリット	通貨	2.1		99.9 (%)
122	ヘモグロビンA1C (※NGSP値)	通貨	2.1		99.9 (%)
123	血小板	通貨	2.1		99.9
124	胃部X線直接所見	テキスト	2	0	所見コード4
125	胃部X線直接所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
126	胃カメラ所見	テキスト	2	0	所見コード4
127	胃カメラ所見指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
128	腹部エコー	テキスト	2	0	所見コード5
129	腹部エコー指示	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
130	精密受診年月日1	日付	10	-	YYYY/MM/DD
131	精密受診結果1	テキスト	3	0	疾病コード
132	診断結果指示1	テキスト	2	0	診断結果指示コード
133	精密受診年月日2	日付	10	-	YYYY/MM/DD
134	精密受診結果2	テキスト	3	0	疾病コード
135	診断結果指示2	テキスト	2	0	診断結果指示コード
136	精密受診年月日3	日付	10	-	YYYY/MM/DD
137	精密受診結果3	テキスト	3	0	疾病コード
138	診断結果指示3	テキスト	2	0	診断結果指示コード
139	精密受診年月日4	日付	10	-	YYYY/MM/DD
140	精密受診結果4	テキスト	3	0	疾病コード
141	診断結果指示4	テキスト	2	0	診断結果指示コード
142	精密受診年月日5	日付	10	-	YYYY/MM/DD
143	精密受診結果5	テキスト	3	0	疾病コード
144	診断結果指示5	テキスト	2	0	診断結果指示コード
145	胃精密受診年月日1	日付	10	-	YYYY/MM/DD
146	胃精密受診結果1	テキスト	3	0	疾病コード
147	胃診断結果指示1	テキスト	2	0	診断結果指示コード
148	胃精密受診年月日2	日付	10	-	YYYY/MM/DD
149	胃精密受診結果2	テキスト	3	0	疾病コード
150	胃診断結果指示2	テキスト	2	0	診断結果指示コード
151	胃精密受診年月日3	日付	10	-	YYYY/MM/DD
152	胃精密受診結果3	テキスト	3	0	疾病コード
153	胃診断結果指示3	テキスト	2	0	診断結果指示コード
154	乳精密受診年月日1	日付	10	-	YYYY/MM/DD
155	乳精密受診結果1	テキスト	3	0	疾病コード
156	乳診断結果指示1	テキスト	2	0	診断結果指示コード
157	乳精密受診年月日2	日付	10	-	YYYY/MM/DD

新No.	項目名	型	桁	付加	備考
158	乳精密受診結果 2	テキスト	3	0	疾病コード
159	乳診断結果指示 2	テキスト	2	0	診断結果指示コード
160	子宮精密受診年月日 1	日付	10	-	YYYY/MM/DD
161	子宮精密受診結果 1	テキスト	3	0	疾病コード
162	子宮診断結果指示 1	テキスト	2	0	診断結果指示コード
163	子宮精密受診年月日 2	日付	10	-	YYYY/MM/DD
164	子宮精密受診結果 2	テキスト	3	0	疾病コード
165	子宮診断結果指示 2	テキスト	2	0	診断結果指示コード
166	一次検診結果 1	テキスト	3	0	疾病コード
167	一次検診結果指示 1	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
168	一次検診結果 2	テキスト	3	0	疾病コード
169	一次検診結果指示 2	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
170	一次検診結果 3	テキスト	3	0	疾病コード
171	一次検診結果指示 3	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
172	一次検診結果 4	テキスト	3	0	疾病コード
173	一次検診結果指示 4	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
174	一次検診結果 5	テキスト	3	0	疾病コード
175	一次検診結果指示 5	テキスト	2	0	一次検診結果指示コード
176	診断結果生活指示コード 1	テキスト	1		診断結果生活指示コード
177	診断結果生活指示コード 2	テキスト	1		診断結果生活指示コード
178	診断結果生活指示コード 3	テキスト	1		診断結果生活指示コード
179	診断結果生活指示コード 4	テキスト	1		診断結果生活指示コード
180	診断結果生活指示コード 5	テキスト	1		診断結果生活指示コード
181	診断結果生活指示コード 6	テキスト	1		診断結果生活指示コード
182	腹囲	通貨	3.1		999.9 (cm)
183	尿比重	通貨	1.3		9.999
184	MCV	通貨	3.1		999.9 [fl]
185	MCH	通貨	3.1		999.9 [pg]
186	MCHC	通貨	3.1		999.9 [%]
187	HCV抗体	テキスト	1		所見コード 1 5
188	ピロリ	数値	2		9.9 (U/ml)

↑
「0」 : 「0」を付加する (桁数が足りない場合、前をゼロで埋める)
空白 : 何も付加しない

【 所見コード表 】

コード番号	1聴力所見
空白	未検査
2	聴覚障害
3	その他

コード番号	2心電図所見
空白	未検査
02	洞性徐脈
03	洞性頻脈
04	上室性期外収縮
05	心室性期外収縮
06	心房細動
07	不完全右脚ブロック
08	完全右脚ブロック
09	左脚ブロック
10	WPW症候群
13	QT延長
14	左室肥大
15	ST上昇
16	ST低下
17	T平低
18	陰性T
19	心筋梗塞
20	その他
21	右軸偏位
22	左軸偏位
23	右房負荷
24	左房負荷
25	低電位差
26	高電位差
27	右室肥大
28	I度房室ブロック
29	II度房室ブロック
30	III度房室ブロック
31	発作性頻拍症
32	洞不全症候群
33	ペースメーカー調律
34	その他の不整脈
35	陳旧性心筋梗塞
36	右胸心
37	T波増高
38	R波増高不良
39	異常Q波
40	時計回転
41	反時計回転
42	不定軸
43	狭心症

コード番号	3胸部X線所見
空白	未検査
02	肺結核
03	肺結核治癒型
04	サルコイドーシス
05	肺炎
06	気管支拡張症
07	術後肺
08	心肥大
09	肋骨骨折
10	その他陰影
11	その他
12	肺門部腫大
13	炎症治癒像
14	石灰化陰影
15	孤立性結節影
16	空洞性陰影
17	限局性浸潤影
18	びまん性浸潤影

コード番号	4胃部X線、胃カメラ所見
空白	未検査
02	慢性胃炎
03	びらん性胃炎
04	胃潰瘍
05	胃潰瘍瘢痕
06	胃ポリープ
07	胃がん
08	十二指腸潰瘍
09	十二指腸潰瘍瘢痕
10	胃・十二指腸憩室
11	食道炎
13	食道静脈瘤
14	術後胃
16	その他
17	ひだ集中

コード番号	5腹部エコー所見
空白	未検査
01	胆嚢内結石
02	胆嚢ポリープ
03	胆嚢腫瘍
04	総胆管結石
05	肝臓がん
06	腎嚢胞
07	大動脈瘤
08	卵巣嚢腫
09	腎腫瘍
10	膵臓がん
11	その他
12	脂肪肝
13	肝内石灰化
14	肝嚢胞
15	肝血管腫
16	肝腫大
17	肝内胆管拡張症
18	肝線維化
19	肝硬変
20	その他肝臓所見
21	胆嚢萎縮
22	胆嚢腫大
23	胆嚢壁肥厚
24	胆嚢壁内結石
25	胆嚢憩室
26	胆嚢腫瘍
27	胆管拡張
28	その他胆嚢所見
29	胆管結石
30	胆管腫瘍
31	胆嚢腺筋症
32	胆嚢摘出後
33	膵腫大
34	膵管拡張症
35	膵石症
36	膵嚢胞
37	膵描出不良
38	膵腫瘍
39	その他膵臓所見
40	腎尿路結石
41	腎内石灰化
42	腎盂拡張
43	腎腫大
44	腎萎縮
45	水腎症
46	その他腎臓所見
47	前立腺石灰化
48	前立腺肥大
49	卵巣腫大
50	その他卵巣所見
51	子宮筋腫
52	その他子宮所見

コード番号	6大腸がん検査所見
空白	未検査
11	陰性
12	陽性

【 所見コード表 】

コード番号	7乳がん検診所見
空白	未検診
2	乳腺症
3	乳腺炎
4	乳がん
5	乳腺腫瘍
6	甲状腺腫
7	その他
8	乳腺石灰化
9	乳腺嚢胞

コード番号	8子宮がん所見
空白	未検診
2	子宮筋腫
3	子宮ポリープ
4	子宮がん
5	卵巣嚢腫
7	その他子宮所見
8	卵巣腫大
9	その他卵巣所見

コード番号	9子宮細胞診結果
1	クラスⅠ
2	クラスⅡ
3	クラスⅢ _a
4	クラスⅢ _b
5	クラスⅣ
6	クラスⅤ
7	判定保留
8	適正
9	不適正
10	NILM
11	ASC-US
12	ASC-H
13	LSIL
14	HSIL
15	SCC
16	AGC
17	AIS
18	Adenocarcinoma
19	Other

コード番号	10診察所見
空白	未検診
2	その他
3	甲状腺腫大
4	心雑音
5	肺雑音

コード番号	11脈拍所見
空白	未検診
2	その他
3	不整脈あり

コード番号	12喀痰細胞診所見
空白	未検診
4	その他
5	がん細胞疑い
6	検体不良・判定不能

コード番号	13尿沈渣所見
空白	未検査
0	異常なし
1	所見あり

↓
(尿沈渣の入力基準)

- ・赤血球(毎視野)
- ・白血球(毎視野)
- ・扁平上皮(毎視野)
- ・円柱(毎視野)

0	正常範囲
1	正常範囲外

コード番号	14眼底検査所見
空白	未検診
2	その他
3	高血圧
4	動脈硬化
5	糖尿病
6	白斑
7	眼底出血
8	ドルーゼン
9	乳頭部陥凹大
10	白内障
11	ぶどう膜炎
12	黄斑変性
13	視神経萎縮
14	網脈絡膜萎縮・変性
15	緑内障

コード番号	15HBs抗原、HCV抗体
空白	未検診
0	-
1	+
2	その他

コード番号	16胸部X線省略理由
空白	受診
1	妊娠中
2	直接撮影
3	治療中
4	その他

様式4

静岡県立病院機構職員 健康診断結果連絡票

健診種類（該当に○をつけてください。）

雇用時健康診断 一般検診 成人病検診 成人検査
指定年齢検診 人間ドック 脳ドック
胃がん検診 大腸がん検診 子宮がん検診 乳がん検診

受診日 年 月 日

所属名

職員番号

氏名 年 月 日生（ 歳）

健診結果

本人への指示事項

その他連絡事項

年 月 日

検診機関名
担 当
電 話 番 号